

- #デジタルツイン
- #情報技術ゼネラリスト
- #人間工学 #ロボティクス
- #AI・データサイエンス

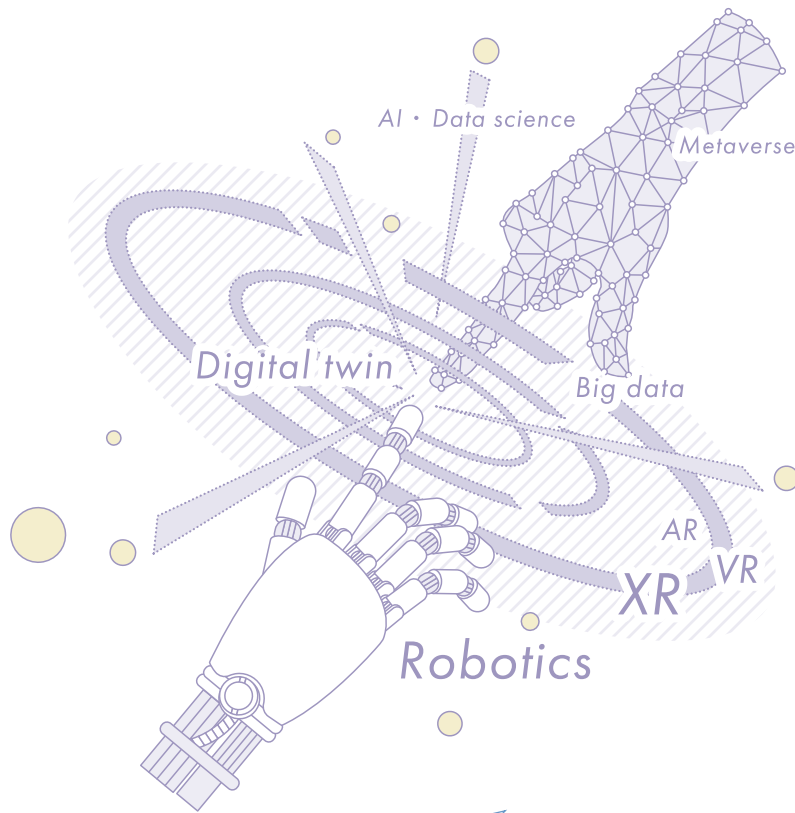


知能情報学科

SOCIAL ISSUES

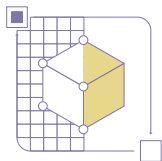
社会のあり方を大きく変える 情報・AI技術

リアルとバーチャルの融合により今後も大きく
社会の仕組みやあり方を変えていく情報・AI技術。
それらを横断的に活用できる人材が求められています。



社会課題に応える

注目WORD



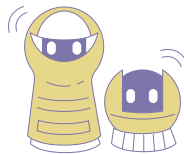
▶ デジタルツイン

現実を仮想空間で
再現・解析し、予測や
シミュレーションを行う技術



▶ AI・データサイエンス

ディープラーニングを活用し
大量のデータから
課題を解決



▶ ロボット開発

生活や社会の中で
人々と協調するロボットなどの
開発をめざす

甲南大学がめざす

進化POINT

1 AI時代に必要とされる “情報学分野横断型 ゼネラリスト”を養成

6つのコースを自ら組み合わせることで、
多岐にわたるフィールドで求められる力を磨
きます。PBL科目やコース演習など、最先端の
設備を活用した体験型・双方向の授業を通し
て、成長を実感することが可能です。

2 教育と研究の相互作用を生む 学部・大学院連携の 6か年教育

未来創造型、社会実装型研究を行う甲南デジ
タルツイン研究所や、大学院の研究科独立に
より大幅に研究力を強化。多様な教育・研究プ
ロジェクトの相互作用で、近未来の情報学を見
据えた高い実践力・技術力を身につけます。

甲南デジタルツイン研究所 P.8

人間の振る舞いから
インタフェースをデザインする
山中仁寛 教授



その他
研究
PICK UP



大量のデータからユーザーに
合わせた情報を抽出・提供する
瀬本 明代 教授

世界を変える 研究 PICK UP



関 和広 教授

知的情報システム研究室

AIの活用で金融・経済分野の 課題解決をめざす

現実世界の問題に対する、自然言語処理や機械学習といった人工知能
技術の応用を研究しています。現在は主に、経済ニュースの記事に基づい
て景気がどう変わっていくのかリアルタイムで予測する手法の開発など、
金融・経済分野への応用を中心に取り組んでいます。

研究分野 データサイエンス / 人工知能



▼ ゼミでのディスカッションの風景

